

公民館だより

ひがしの

№ 36 号

3年11月15日

発行 東野公民館



歌舞伎復活

東野は古くから恵東座という舞台小屋があり、秋の収穫前に村民こそって素人芝居を楽しむという習慣がありました。しかし、戦後になって娯楽の多様化など時代の流れと共に衰退し、恵東座も老朽化のため取り壊され、ふるさとの伝統である歌舞伎は四十年代になると途絶えてしまいました。

このたび、この「歌舞伎の復活という声が高まり、地域住民の方々を中心に歌舞伎保存会が結成され、敬老の日に合せ、二十年ぶりに「太功記十段目、尼崎の閑居の段」一幕が上演されました。

役者の方の熱演に声援おひねりが飛び交いお年寄りの方にも大変よろこんでいただきました。

十一月十日には恵那文化センターで行われる伝統芸能大会へ出演しました。

東野歌舞伎復活の御礼

東野歌舞伎保存会会長

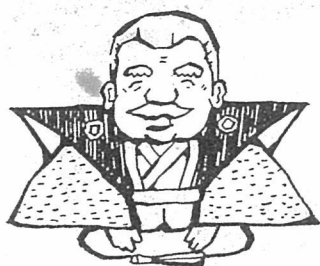
渡 辺 浩 光

さる九月十五日敬老の日に公演しました東野歌舞伎には、たった一幕でしたが、お年寄りの方をはじめ住民多数の方々のご観覧と熱いご声援をいただき、誌上をかり心より厚く御礼申しあげます。

激しい時代の移り変りのなかで、二十五年ぶりに村芝居を復活し上演すること、はじめは、はたして多数の方に受け入れられるかどうか大変心配いたしましたが、結果は大方のご好評を得られましたようで、保存会としても嬉しく思い意を強くすることが出来ました。これも偏えに、ふるさとの伝統と文化を愛し、代々の先人が育て守り誇りにしてきた東濃唯一の伝承芸能である村芝居に愛着を覚え、ふるさとの民族的文化遺産を大切にしようとの皆様の温かいご心情によるものと存じます。そうしたお心から、東野歌舞伎保存会にお

寄せいただきました多くの方々の物心両面にわたる多大のご協力ご支援に対し、心からの御礼を申し上げる次第でございます。

物の時代から心の時代へと言われ、村おこしやふるさとの活性化が叫ばれている今日、皆様のお蔭で何とか復活再生をみた東野歌舞伎が今後文字どおり地芝居として東野の地に根づき、年を追うて彩豊かな花を咲かせるように、守り育て努力していきたいと存じますので、これからも何かと温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



復活芝居の観劇後記

市川 光 男

東野歌舞伎復活の動きがあることを知った。

実現することを心中望む、他方では資金集めにご苦労の不安があったが住民の皆さんの支援ですべてが杞憂でありました。

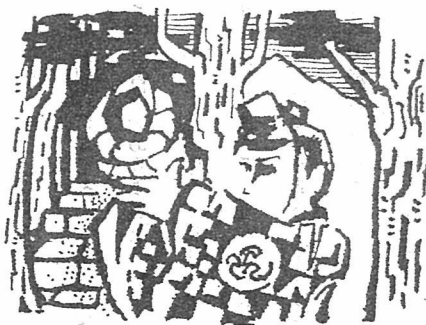
兎に角明治、大正、昭和一と桁生れの年代の者には拍手喝采の興奮で一杯でした。

敬老会への心温まるプレゼントの開演で憎らしい程の企画で関係者の労に敬服と感謝の外はありません。

歌舞伎の異様なムードが声となり香りとなって観衆を見事なまでに魅了してしまいました。子供時代の恵東座での村芝居のことがいろいろ想い出されて年甲斐もなく心が熱くなりました。役者衆の真剣な演技が観衆の前に無限に拡って名古屋の御園座にもない庶民の味がかもし出されて素朴の中に笑いと歓声の一時間余人の心を

あんなにも懐きさと安らぎに誘い込んだことに心を打たれました。古典を通じ郷愁と二十五年ぶりの創生が観衆の心にかかを刻んだことでしょう。

次代から次代へ継承されて連綿となく続く東野の芸能文化が高く評価されることを確信します。



飽食時代の栄養失調

土 方 紀 代 子

食べ物があふれる時代でも

上手に食べなければ栄養失調になります、太っていてもビタミンや無機質が不足するからです。

まんべんなく栄養をとるためには食品数をたくさんとることが基本となります。あなたは今日一日何品とることができたでしょうか。左の数え方を参考に数えてみて下さい。

食品数の数え方

材料の数でなく使われている材料を数えます。

① 同じ食品は一日何回食べても

一つとする

② 肉や魚は種類が異なれば別に数える

③ 使用量が少なく栄養的にあまり意味のないものは数えない。薬味ねぎ、生姜、しょうゆ、酢など。

ただ、みそ、油、砂糖、マヨネーズ、ケチャップなどは数える。

④ 外食した場合はわかるものだけ数える、市販のハンバーグ、コロッケ等は一食品とする。

⑤ 酒類、ジュースなどは除外の扱いがよいでしょう。

20 食品以下だった人は栄養的に片

寄つてきます。食品数をふやす方法を考えてみましょう。

・ 毎食何種類かの食品の入っている料理を作る。

・ 朝食・昼食を大切に作る。

・ 野菜の種類をふやす。特に緑黄色の濃い野菜を。(ガンを予防する働きがあります。)

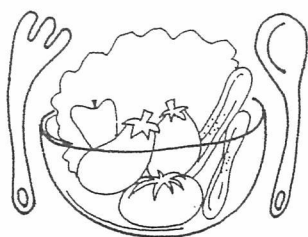
・ 調理済食品。(コロッケなどの加工品)に頼らない。

・ 各自皿盛りにする。これから冬に向かって鍋物などが増えてきますが、各自好きなものばかり食べていてはダメですね。小さな子供

などはお母さんが気を付けて鉢に

とり分けてあげて欲しいものです。

食べ物是一日や一食の栄養ではなく、長い毎日の食べ物の積み重ねです。その栄養が体をつくり健康を維持していきます。食欲の秋に栄養についても家族で話し合っていただけたからおもいます。



川干し名人金松爺さん

市川 義晴

私達子供の頃の阿木川は美しかった。川の流れが清冽であった。

水量も多かった。その阿木川に生息する川魚、雑魚も又数が多かった。白ハヨ、ムツ、ゲニハチ、ムギナ、アジメドジョウ、ザッコ、ドウゼン、鯉、鮒、カンチンドジョウ、ヤナギバヨ、等が沢山獲れた。

今は絶滅の小鱼、希少価値の小鱼のことを語るのは隔世の観がある。

そんな時代に「我が道を行く」頑固一徹に生き、斗酒を辞せず、そして喧嘩早い男意地の啖呵を切る、そんな金松爺さんが大好きで

あった。

村の酒宴祭典の酒席には必ず金松爺さんの怒声が拡がるのである。

体も一並以上の大男で、初牛等の酒宴時の金松爺さんは仁王像のような威風があった。

そんな染戸大門の金爺さんは、川魚獲りの名人であり、川干しの達人であった。

川干しの朝、金松爺さんは白坂へ水苔を獲りに行く、背負縄と背ゴが水苔取りの主役だ、大門と白坂の間を幾回となく往復して川干しの準備は整った。

金松爺さんの川干しは非常に大掛りの川干しだ、昼頃から夕方に

かけての酷暑の中での懸命の労役

は全く神懸りと言う外はない、広

い阿木川を二分する大川干しは、

先づ大きな石を川の中でゴロンゴ

ロンと転して並べる、道具は鉄棒、

竹み、鍬等である、金松爺さんの

秘法は一米ぐらい本流であけて周

囲を石と水苔で綿密に塞ぎ最後一

挙に本流の一米の閉鎖に挑む作業

は鬼神の如くであった。

水は見事に止まる、すかさずう

げ。という竹で編んだものを上と

下に当てる、魚は急に水が細くな

りびつくり驚天だ、

細い水量の小石まで除くともう

夜の月が上る、魚は皆上りうげ、

下りうげに競って入ってしまう、

金松爺さんの秘伝川干し流だ、

一千しの下場では悠に十キロぐら

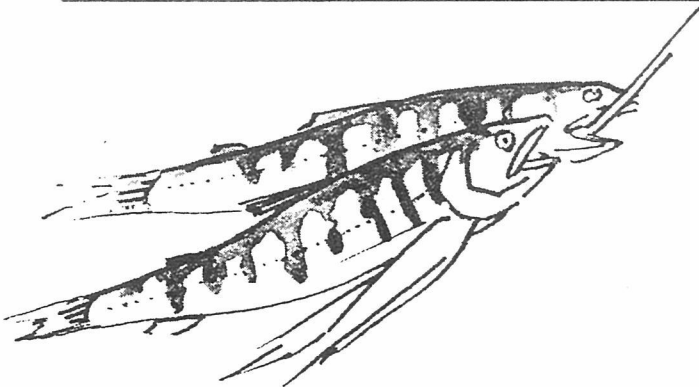
いは獲れた、それを朝町の料理屋

に売るのである。

金松爺さんの半生は阿木川での男意地と水の流れとの死闘であった。

敢然として魚籠を見つめる金松爺さんはたくましい仁王尊だ。

一人で成し遂げた川干秘法の成功に輝く瞳、赤銅色の童顔が今でも鮮明に脳裏に浮んで来る川干名人金松爺さん。



敬老会

去る、九月十五日振興会主催により、東野敬老会が開催されました。対象者百三十七人の中、七十五名の方が出席され、伊藤寛次郎さん外四名の方が八十八才、西尾昌枝さん外十一名の方が七七才のお祝を受けられました。

市長さんが「いつまでも元気で長生きして下さい」と挨拶され、お年寄りを代表して光岡聖真さんがお礼の言葉をのべられました。

その後のアトラクションでは、小学校の子供達が東野音頭の踊りを披露し、祝宴には東釣会から鮎の塩焼、魚田がふるまわれ、心のこもったもてなしに楽しい一時を過されました。



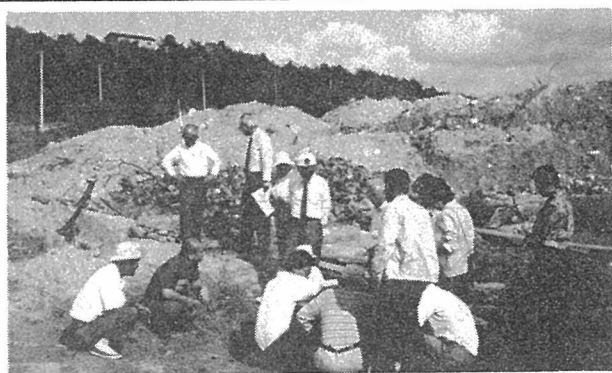
歴史探訪講座に入門して

土方 和子

私も昨年還暦を迎え少し自由な時間が出来ました。何かに使えればと思つて居た所、近所の方に誘われ、これならと歴史探訪に参加しました。

「温故知新」で古きを尋ねる事にしました。出席する度にタイムカプセル入りをして平安時代、奈良時代へ、又五輪の塔の話、古墳の有る所と昔の生活の中にとけこんで来ました。

瑞浪の日吉へ美濃歌舞伎の観劇に連れて行つて戴きました。日吉へは始めてでしたので何だか遠くへ連れられて来たようでした。大杉の中の道には何十本もののぼりが立てられ、昔を思いだす村芝居義経千本桜、吉野山道行初音旅、伽藍先代萩、恩愛と世の変わり、権謀術策のうず巻く武家屋敷、又カプセル入りして四〇〇年前です、難しい古語は判りませんがいまにもつづく原点だと……。



永田遺跡の見学

おひねりが飛び、割ご御飯を食べた思い出が懐かしく、来て良かったなあー。と思いました。又秋も終りの少ない晴れの日に永田の大洞で二基も窯跡が発見され此の様な身近な所にもあったのかと、窯の内側の先祖の手の跡、先祖の息吹があるとは、。盗堀もなく山茶碗、皿、ツボ、かめ等

沢山出土し、此の辺りの人は善人が多く住んで居たかと誇らしく思いました。

次には瑞浪の化石博物館でした。地図を見ると三千五〇〇億年前、瑞浪は湖底で岩村の方が深い湖だったそうです。

又カプセル入りして三千五〇〇億年前に戻りました、その頃はぞう、さめ、恐竜、湖水には種々の貝、此の地で遊んで居たとは……。それから隣りは水車を使って焼き物の原料作りの進化、ユウ薬の作り方

立穴式住居に二分住み、などして、三千五〇〇億年の湖底探訪、茶碗作りの進化、立穴式住居、わずか五時間でした。

タイムカプセルから出て今日今頃は田舎のお祖母さんです。後もどおり振り返り面白く過ぎて戴きました

平成三年十月十三日

東野夏まつり

八月三日(土) 夏の一夜、涼をとりながらの東野夏まつりが行われました。

子供達を対象にしたウルトラクイズに始まり、夜店も、アイスクリーム、わたがし、ラムネ、ビール、金魚すくい、と大変なにぎわいでした。

踊りの輪も婦人会の協力で、普段仲々みられなくなったゆかた姿がはなやかさを増し、老いも若きも一緒になって東野音頭、小唄の踊りでたのしい一時をすごしました。



花無山俳句会

晩夏の日肩にたまれる「老」ほぐす

鈴木抱風子

夕端居ふるさと持つ人持たぬ人

全

白桃は如意の宝珠に見ゆるかな

全

無花果の大口あけて蜂一尾

伊藤公道

噴霧器の虹の中なるトマトかな

丸山瑞月

木蓮や一トひら舞いて流れけり

足立いさむ

石垣に昼間のほてり花火観る

加藤裕子

落柿の渋のしみつく庭の石

西尾美恵子

おくれじと農婦について蚊が家に

市川芳子

雨上る黒黄揚羽地を吸へり

西尾筍子

梅もがむ茂るわらびも刈り倒し

松本はるか

若者の土に生く腕光る汗

伊藤靖代

青田道この道しかない車椅子

伊藤道子

何度でも同じしぐさの源五郎

坂井秀子

先に募集したあいさつ標語

(一般の部) がきまりました

あいさつのこだまに 明ける 平和郷

渡辺 浩光

ありがとう この一声で 広がる輪

足立 智胤

あいさつは 心の扉 開く声

土方 晴視

親も子も あいさつ 一家 おらが里

市川 義晴

主催 東野青少年育成町民会議

東野小学校 P T A

クイズ

① 恵那市の中で東野の広さ(面積)は何番目でしょう。

(1) 一番目 (2) 三番目

(3) 七番目

② 今年度の小学校の児童は何人でしょうか。

(1) 一八二人 (2) 一四八人

(3) 一二七人

③ 東野の産業で明治から昭和にかけて大変に栄え、外国にまで輸出されたものがあります、どれでしょうか。

(1) 刃物(ナイフ、はさみ等)を作る

(2) 蚕種(蚕のたまごを作る)

(3) 陶磁器(茶碗、タイルなどを作る)

④ 東野は昔、何という藩の中にあつたでしょうか。

(1) 苗木藩

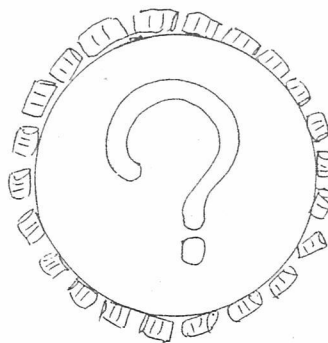
(2) 岩村藩

(3) 尾張藩

⑤ 阿木川ダムが満水の時の水の量は、ドラム缶をつなぐと、地球を何周するでしょう。

(1) 3. 2周 (2) 4. 5周

(3) 5. 4周



お知らせ

・十一月一日より公民館使用料に消費税がかかります。

・忘れものの傘がたくさんあります、お心当たりの方は取りに来て下さい、今年度中にお申し出がない場合、かたづけさせていただきます。

東野公民館教養講座生募集

※※※※※ ゆとりある日常生活を ※※※※※

募 集 要 項

1. 開設の期間・・・・・・平成3年11月～平成4年3月（月2回）
2. 開設の場所・・・・・・東野公民館
4. 申込の期日・・・・・・10月10日から東野公民館へ（申込み書有り）
5. 受講料・・・・・・1講座 2,000円（10回分）
6. そ の 他・・・・・・イ. 資料、材料等は別途・・・他町の方も可

ロ. 受講者が少ない時は中止します。

講座名	講 師	目 的	持参品	開催予定日時
水 墨 画	荻 野 恵 三	濃淡の調子によって美を表出する墨絵の初歩をみんなで楽しく学習する。	筆、紙、 筆を洗う用具	第2、第4金曜日 午後7～9時
俳 句	丸 山 益 夫	俳句を通じ生活に潤いを…	筆記用具	その都度 午後7～9時
ペ ン 習 字	藤 下 湖 山	規則正しく学べば誰でも上達できます。始めての方、お気軽にどうぞ。	代金 500円紙 墨汁、ペン等	第2、第4火曜日 午後7～9時
和 服 き っ け	千 藤 美 智 代	初歩から楽しく学びます。	タオル4本 針と糸	第1、第3水曜日 午後7～9時
歴 史 探 訪	西 部 良 治 伊 藤 英 晃 安 藤 利 通	西行の生涯と恵那南朝伝説	筆記用具	第1、第3水曜日 午後2～4時

編 集 後 記

今回は、土方先生に健康について書いていただきました。

豊かな時代の弊害もあるようです。昔にかえって、自給自足のような生活も時には大切かもしれません。

クイズ答え

① (3)

一番広いのは長島町で東野は七番目で十七、一六平方キロです。

② (3)

昭和三〇年度は二七二人、六十年度は一四九人でした。年々減少して今年度は一二七人です。

③ (2)

昭和の始めまで風穴という、岩山の斜面に作った洞窟を冷蔵庫がわりに利用して孵化時期を調節しながら出荷された。

④ (2) 岩村藩

⑤ (3) 5.4周

満水となると四八〇〇万トンです。